

# はがの 波賀野遺跡

～縄文時代後期の集落の調査～

(篠山市波賀野)

昨年の10月から12にかけて、篠山市波賀野において国道372号丹南バイパス道路改築事業にともなう発掘調査を実施しました。

調査では、古墳時代後期(約1400年前)の<sup>ほったてばしらたてもの</sup>掘立柱建物跡群と、縄文時代後期(約3700年前)の集落跡が発見されました。

古墳時代後期の掘立柱建物跡は6棟が確認され、小規模ながら倉庫を備えた居住空間であったようです。遺跡の南東に所在する波賀野古墳に葬られた首長が暮らしていた居館の一部であった可能性が考えられます。

掘立柱建物跡群の下層からは、縄文時代後期の集落が見つかりました。調査区中央の北西から南東に流れる河道(幅約5m、深さ約1m)の北側では、一部、河道に削られた<sup>とこう</sup>竪穴住居跡1棟やドングリなどの食料を貯蔵する袋状(下の方が広がった形状)に掘られた土坑2基の他、土器の中に遺体や骨を納めたと考えられる土器棺や、土坑の上に人頭大の石を据えた<sup>はいせきどこう</sup>配石土坑などの墓も確認されました。

縄文時代の遺物は、縄文土器に多くみられる<sup>ふかばら</sup>深鉢をはじめ、サヌカイト製の<sup>せきぞく</sup>石鏃、漁網用の<sup>せきすい</sup>石錘、調理具の石皿やすり石、叩き石、祭祀用の<sup>せきぼう</sup>石棒などの石器が多数出土しています。



調査区の様子(下層・西から)



竪穴住居跡

配石土坑

土器棺